

[illegible]

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I. 定量的指標に關連する交付対象事業の效果の發現狀況

Ⅱ. 定量的指標の達成状況	指標①（下水道管整備率）	最終目標値 最終実施値	80% 77%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費や工事の進捗状況から、汚水幹線の整備計画を見直したことにより、整備目標値に達成しなかった。
	指標②（処理場高度処理実施率）	最終目標値 最終実施値	25% 0%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の平準化を図るため、工事工程を見直したことにより、実施目標値に達成しなかった。 なお、平成28年夏頃には工事が完了し、実施率が33%となる予定である。
	指標③（処理場改築・更新工事実施率）	最終目標値 最終実施値	46% 31%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿化計画は策定したが、設計業務に時間を要したため、改築工事の実施まで出来なかった施設があったので、実施目標値に達成しなかった。
	指標④（雨水ポンプ場地震対策実施率）	最終目標値 最終実施値	100% 100%	目標値と実績値に差が出た要因	
Ⅲ. 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況（必要に応じて記述）	・下水道管の整備が進むことにより住居環境が整い、住宅戸数の増加に貢献している。				

3. 特記事項 (今後の方針等)

汚水管整備事業については、2期計画にて引き続き整備を実施することで、公衆衛生の向上及び健全な都市の発達を図り、川や海の水質を保全する。最終処理場の高度処理については、引き続き水処理施設（5・6池）の工事を実施していく。

政策・更新事業については、新防災・安全計画にて引き続き整備を実施することで、下水道施設の機能を適正に維持していく。

社会資本総合整備計画

